



# 四万十診療所

## 2021年8月10日で診療休止へ

### 中村に診療所を

1983年12月の高知生協病院開設後、全県で支部づくりが拡がり、幡多地域でも1987年9月に組合員280名で大方中村支部が誕生しました。当時は高速道路もなく、高知生協病院から120キロの距離を片道3時間かけ「出張健診」や「班会ツアー」を実施していました。そうした中、「中村にも診療所が欲しいね」という要望が高まり、1993年の総代会で中村への診療所建設が正式決定しました。

開所までに「組合員2000人、土地代は出資金で」を目標に、建設推進委員160人と全支部の応援で「せいの行動」を重ね、1997年12月1日に念願の「四万十診療所」ができました。

### 後任医師が見つからず

2012年4月に四万十診療所長に就任された佐沼興一医師が、8月10日で70歳となられ、ご本人の意向もあり退職されます。歴代所長の中で最も長い約10年に及ぶ診療活動に感謝と敬意を申し上げます。

「佐沼所長に2022年3月31日まで診療延長を求め、四万十ブロック5支部の要望書」には2025筆が集まりました。再度のお願いでしたが、体力的な問題もあり延長は困難とのご回答をいただきました。

タイムリミットの2カ月前が来ましたが医師確保ができませんでしたので、断腸の思いではありますが、2021年8月10日をもって四万十診療所の診療活動を終了（休止）することを理事会決定しました。皆様には24年間ご利用・ご支援いただき、本当にありがとうございました。

### 高知医療生協の 医師の現状と課題

2011年に常勤医師4名退職、歴代四万十診療所長も半数が退職しています。現在は、生協病院の法定医師数11名に対し、常勤医師11名です。まさに高知医療生協の医師数はぎりぎりの状態にあります。年齢構成は、病院が60歳以上1

名・50歳以上4名・40歳以上5名・35歳以上1名です。

診療所長は62歳・66歳・70歳・70歳です。5年後には全医師の半数が60歳以上となります。医師が増えない状況が続けば、全事業所の継続は困難で医療事業の縮小が必要となります。



診療は終わっても  
医療生協に  
終わりはありません

四万十診療所の建物の活用について、中村西・中村東支部や四万十ブロックの運営委員会を中心に相談しており、「健康づくり」や「つながりづくり」の活動拠点として運用をすすめていきます。デイサービスはいきょう四万十は、これま

で通り事業を行っていきま

す。これから先、ますます医療体制が厳しくなることが予想されます。医療を守る活動、自らの健康を守る活動を、医療生協はすすめていきます。